

2年技術科 年間評価計画

2026年度

観点（態）：主体的に学習に取り組む態度（思）：思考・判断・表現（知）：知識・技能

単元	観点	評価規準	評価目標（おおむね満足：B）	評価方法・場面
身の回りの材料と加工の技術	(知) (態)	・身の回りの製品に生かされている材料の特性と材料に適した加工方法について理解している。 主体的に材料と加工の技術について考えようとしている。	・授業ノートや学習プリントを工夫して作成できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察（意欲、発言） ・ワーク ・学習プリントの内容 ・作品 ・定期試験
機械の特性	(知)	・機械の特性と特性を生かした利用方法について理解している。	・授業ノートや学習プリントを工夫して作成できる。	
材料に適した加工方法	(知) (知)	・目的とする加工に応じた工具や機器について理解している。 ・工具や機器を適切に選択し、安全に配慮しながら簡単な製作品を製作できる技能を身に付けている。	・技術室にある工具や機器の種類や用途に関心をもつことができる。 ・簡単な加工体験を行い、本題材（材料と加工の問題解決）の技能を身に付けることができる。	
丈夫な製品を作るために	(知)	・身の回りの製品を丈夫にする方法を調べる活動などを通して、構造と部材を丈夫にする方法について理解している。	・プリントにしっかり記入している。 ・繊維方向の違いを理解している。	
材料と加工の技術の工夫を読み取る	(思)	・材料と加工の技術に込められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に気付くことができる。	身の回りの製品が材料と加工の技術によってできていることを理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察（意欲、発言） ・ノート ・作品 ・定期試験
問題を発見し、課題を設定しよう	(思)	・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。	・積極的に「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を見いだすことができる。	
製作品を構想し、設計しよう	(知) (知) (思)	・必要な図の描き方を理解している。 ・製作に必要な図に表すことができる技能を身に付けている。 ・材料の選択や成形の方法などを構想し、設計を具体化する力を身に付けている。	・積極的にノートを書き、設計図を得手不得手関係なく、前向きに取り組むことができる。	
製作の計画を立てよう	(思)	・構想に基づいて、製作の計画を立てることができる力を身に付けている。	・授業ノートや学習プリントを工夫して作成できる。	
作業手順を考えて製作しよう	(知) (態)	・安全・適切な製作や検査・修正をすることができる技能を身に付けている。 ・他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。	・積極的に作業をし、途中で投げ出さず、根気よく続けることができるか。 ・塗装方法を工夫しようとしているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験
問題解決の評価、改善・修正	(思) (態)	・製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。 ・自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。	・積極的に作業をし、途中で投げ出さず、根気よく続けることができるか。	

身の回りの材料と加工の技術	(知) (態)	・身の回りの製品に活かされている材料の特性と材料に適した加工方法について理解している。 主体的に材料と加工の技術について考えようとしている。	・授業ノートや学習プリントを工夫して作成できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 (意欲、発言) ・ノート ・作品 ・定期試験
機械の特性	(知)	・機械の特性と特性を生かした利用方法について理解している。	・授業ノートや学習プリントを工夫して作成できる。	
材料に適した加工方法	(知) (知)	・目的とする加工に応じた工具や機器について理解している。 ・工具や機器を適切に選択し、安全に配慮しながら簡単な製作品を製作できる技能を身に付けている。	・技術室にある工具や機器の種類や用途に関心をもつことができる。 ・簡単な加工体験を行い、本題材 (材料と加工の問題解決) の技能を身に付けることができる。	
計測・制御システムとは何だろう	(知) (知)	・計測・制御システムの基本的な構成を理解している。 ・測・制御システムにおけるプログラムの役割を理解している。	・授業ノートや学習プリントを工夫して作成できる。	
計測・制御システムのプログラムを制作しよう	(知) (思)	・安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグができる技能を身に付けている。 ・情報処理の手順を具体化する力を身に付けている。	・授業ノートや学習プリントを工夫して作成できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 (意欲、発言) ・ワーク ・学習プリントの内容 ・作品 ・定期試験